

あだちく 1ねん こくご きょうかしょを つかって

おうちでがくしゅう⑩ 「ひらがなのがくしゅう」 しよしゃ P8・9

「かいて みよう」 こくご P18・19

足立区教育委員会

★がっこうが おやすみのあいだ こくごのきょうかしょをつかって おうちで がくしゅう
しましょう。ひとりでも できますが できれば おうちのかたと いっしょに やりましょう。

いよいよ、えんぴつをもって、ひらがなをかく れんしゅうをします。
しよしゃのきょうかしょ8ページを ひらきましょう。

①～⑥ の じゅんに やりましょう。

③ 「くつ」を えんぴつで
なぞります。

④ なぞった うえのじを
みながら 「くつ」とかきます。

⑤ 「つくし」をえんぴつで
なぞります。

⑥ 「く」と「つ」のつくことばを
かんがえて えんぴつで かきます。

① こえにだして
「くつ」と
よみます。

② 「くつ」を ゆびで
なぞります。
かきじゅんや
「とめ」「はらい」に
きをつけて
3かい なぞります。

こくごの きょうかしょ 18・19 に かいてあるじも えんぴつで なぞり
ましょう。おうちのかたと ことばあつめ げーむもして みましょう。

「く」「つ」「と」「り」「い」「し」
「の」がつく ことばあつめを
しましょう。おうちのかたと おも
いついたことばを いいあい
ましょう。いえなくなったほうが
まけです。

しよしゃと
おなじように
①～③ の
じゅんばん で
えんぴつで
なぞりましょう。

【保護者の方へ】

国語の教科書や書写の教科書で、もう一度正しい姿勢や鉛筆の持ち方を一緒に確認してから書かせてください。姿勢や鉛筆の持ち方を意識するよう、声をかけながら、なるべくゆっくり書かせてください。ここで間違った姿勢や鉛筆の持ち方が癖になってしまうと、後から矯正するのが大変になります。「慌てず、ゆっくり、ゆっくり」「三本指で持たずに中指は枕だよ。」「上手だよ!」「その調子!」と、励ましながらお願いします。学校から平仮名練習帳等が配布されている場合は、そちらの平仮名の練習もやらせてください。